

ウィーン行動呼びかけ ～持続可能な森林ベースのバイオエコノミーのために～

ウィーン行動要請は、協力の精神の下で、持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチ(SFBA)を拡大・発展させることを目指しています。本行動呼びかけは、グローバル・ウェビナーシリーズ 2025 及び 2026 年 2 月 23 日から 25 日に、オーストリア・ウィーンにおいて、オーストリアと南アフリカの共同議長の下で開催された「持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチ推進に関するグローバルサミット」での議論に基づいています。

このサミットは、オーストラリア、フィンランド、日本、トルコ、国連食糧農業機関(FAO)、国際森林研究機関連合(IUFRO)、および国連森林フォーラム(UNFF)事務局の協力による、持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチに関する国と機関が主導するイニシアティブの一環です。このイニシアティブは、UNFF19 ハイレベル宣言(2024 年)および G20 のバイオエコノミーに関するハイレベル原則に沿って設計されており、責任ある木造建築の原則や、持続可能な変革に向けて発展し続けるバイオエコノミー・パートナーシップなど、バイオエコノミーアプローチの拡大に資するツール、根拠、技術、イニシアティブを認識しています。

私たちグローバルサミットの参加者は、SFBA の推進が、ネイチャーポジティブで強靱性があり、多様で公平かつ包摂的な経済と社会への移行に不可欠であることを強調します。SFBA は、持続可能な経営が行われている森林から社会と地球がより大きな恩恵を受けられるようにする確かな能力を持っています。

現在の課題は、森林分野の豊富な専門知識を SFBA の基盤として、可視性から実効性への抜本的な変革を推進することです。実効性のある影響を生み出すために、私たちは各国政府、政府間組織、民間セクター、研究・学術機関、その他の森林関連ステークホルダーに対し、持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチを推進するために、グローバル、地域、国家、地方レベルで以下の5つの共同優先行動を加速するよう呼びかけます。

1. システム変革に向けたリーダーシップの発揮
2. 包摂的なバイオエコノミーの実現
3. ターゲットを絞った財政資源の動員
4. 森林ベースのバリューチェーンとイノベーションを促進する環境の整備
5. あらゆるレベルにおける協働パートナーシップの構築

1. システム変革に向けたリーダーシップの発揮

SFBA は、政策において主流化され、資金が提供され、実践に向けて拡大されるべきであり、持続可能な森林経営を基盤としなければなりません。責任あるバリューチェーン、資源の効率性、適正な雇用の創出を通じて、木材、非木材林産物、生態系サービスの価値向上を生み出す新たな成長機会を開拓することが重要です。これは、全てのレベルにおける強力なリーダーシップ、政策の一貫性、包括的な意思決定を通じて、気候、生物多様性、持続可能性、天然資源管理、エネルギー、建築、貿易、社会、産業に係る課題について SFBA の目標と利益を推進することを可能にします。

2. 包摂的なバイオエコノミーの実現

SFBAは人間中心で権利に基づくものを目指すべきです。このような野心を拡大するには、林業家、森林所有者、中小企業、森林組合や小規模保有者、若者、女性、先住民族、地域社会など、すべての森林関連関係者の力を強化する必要があります。共創を促進する仕組み、資源への包摂的なアクセスだけでなく利益の公正かつ衡平な分配を促進するメカニズムも優先されるべきです。土地保有権の確保、ジェンダー平等、統合的な政策、知識の移転、市場へのアクセスについて、より一層の重点を置く必要があります。これらの措置は、SFBA が特に持続可能な農村開発や生計向上、貧困軽減、文化的価値と伝統知識の保護、社会的平等やレジリエンス、包摂の促進に貢献することに役立つでしょう。

3. ターゲットを絞った財政資源の動員

持続可能な森林ベースのバイオエコノミーアプローチを推進するには資金調達が鍵となります。資源はプロジェクトごとの資金調達を超え、セクター全体の変革を可能にするプログラムのアプローチへと移行する必要があります。これには、ブレンデッドファイナンス・メカニズム、リスク軽減手段、スタートアップ資金へのアクセス、グリーンボンドなど、グローバル資本市場での大規模な資源の動員が含まれます。さらに、再生可能でバイオベースの解決手法へのインセンティブの再設計、地域の状況に合わせた解決策の構築、持続可能な移行投資の拡大が不可欠です。投資は、包摂的かつ持続可能な成長の可能性が最も高い開発途上国における森林バリューチェーン、研究、知識移転にも等しく焦点を当てるべきです。

4. 森林ベースのバリューチェーンとイノベーションを促進する環境の整備

SFBA の発展には、持続可能な木材および非木材素材の供給と、支援的で一貫性のある規制と市場環境が必要です。すべての関係者は、持続可能な森林経営の実施を促進し、推進するとともに、資源供給を確保し、技能、研修、科学に基づく能力構築を促進するため、今すぐ行動を起こすべきです。

これには、土地利用と管理目標のトレードオフの解決、市場アクセスメカニズムの支援、基準や規範の合理化、責任ある形で調達されたバイオベースの製品の特定における認証制度の役割の認識が含まれます。官民の調達政策は、持続可能なバイオベースの解決策に対する初期市場の確保に寄与し、協調的な啓発活動上を含む森林ベースの消費者市場の育成を支援することができます。技術的、社会的、政治的、制度的、金融的イノベーションの拡大は、農村開発とグローバル市場を念頭に置きつつ、国や地域の状況に合わせて調整されるべきです。

5. あらゆるレベルにおける協働パートナーシップの構築

その潜在能力を最大限に発揮し、世界的な勢いを維持するため、SFBA はグローバル、地域、国家、及び地方レベルでの多くの利害関係者パートナーシップにおいて実施されるべきです。これは、技術、アプローチ、持続可能性の測定基準や指標、先住民族および伝統的知識を含む森林に関する知識が世界中で共有される包括的な枠組によって促進され、地球規模での気候や環境危機、さらには固有の経済的・社会的課題に対する地球規模の対応を可能にします。SFBA は FAO、UNFF、CBD、UNCCD、UNFCCC、G20、WTO、ポスト 2030 アジェンダなどの政府間組織や多国間プロセスにおいて認識されるべきです。多国間プロセスは国境を越えた協力を促進し、同時に既存の地域の森林ガバナンスの枠組について、国際的な合意を補完するために不可欠なものとして強化すべきです。国内のプログラムや行動を国際的な枠組と結びつけることで、各国は政策分野全体に亘る相乗効果を生み出すことができます。このようにして、SFBA は地球規模の管理と公平かつ包摂的な繁栄への移行に貢献する可能性を有しています。